

(11)Publication number : 2001-186569
(43)Date of publication of application : 06.07.2001

(72)Inventor : KURAMOTO HISAO
UMEHARA YOSHIKI
HATORI MASAYUKI
NAKAHARA AKIHARU

2005/08/19

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-186569

(P2001-186569A)

(43) 公開日 平成13年7月6日(2001.7.6)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	テマコード*(参考)
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 M 1/00	R 5 K 0 2 7
H 0 4 M 1/00		11/00	3 0 3 5 K 0 6 7
11/00	3 0 3	H 0 4 B 7/26	1 0 9 T 5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-369138

(22) 出願日 平成11年12月27日(1999.12.27)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(71) 出願人 000233136

株式会社日立画像情報システム

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

(72) 発明者 倉元 久生

神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地 株

式会社日立画像情報システム内

(74) 代理人 100075096

弁理士 作田 康夫

最終頁に続く

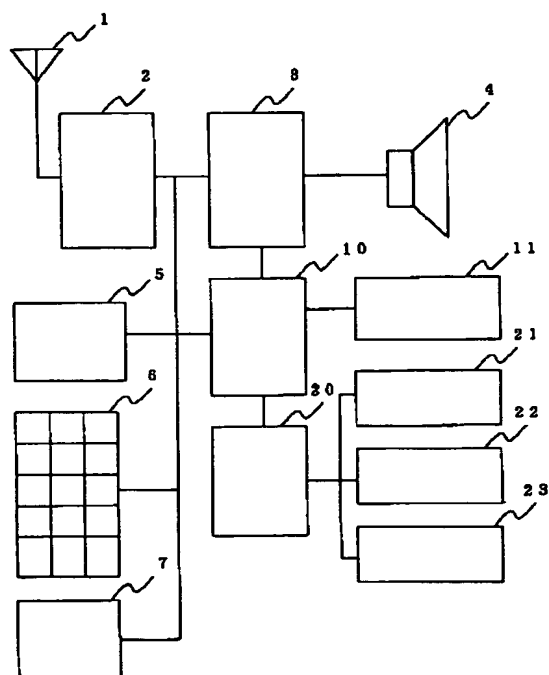
(54) 【発明の名称】 携帯型無線電話機

(57) 【要約】

【課題】携帯型無線電話機において、発信履歴や着信履歴、留守番電話録音メッセージ、受信メール情報などをそれぞれ別の情報として管理しているため、各々の情報を閲覧あるいは再生するためにはそれぞれの別々の操作を行わなければならなかった。

【解決手段】送信あるいは受信した日時と相手先の電話番号及び送受信情報の有無と情報の所在を記録しておく。ボタン操作により、交信記録を時系列順あるいは時系列の逆順に表示し、送受信情報がある場合はその種類と所在情報によりそれぞれの記憶手段から送受信情報を見聞することができる。

図 1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】発信履歴や着信履歴、音声情報、文字情報、画像情報を記録することができる機能を有する携帯型無線電話機において、それぞれの発信記録及び送受信情報の記録場所を一元管理して記憶する記憶手段を設けることにより、簡単なボタン操作で一度に発信履歴及び着信履歴、音声情報、文字情報、画像情報を再生あるいは閲覧することができることを特徴とする携帯型無線電話機。

【請求項 2】請求項 1 において、ボタン操作を行わない間（利用者の不在中）に着信や文字情報の受信、音声情報の受信、画像情報に受信があったとき、着信中の発光手段の点滅周期とは異なる点滅周期で発光手段を点滅させ続けることにより、暗闇でも不在中に受信があったことを判別出来るようにしたことを特徴とする携帯型無線電話機。

【請求項 3】請求項 1 において、ボタン操作を行わない間に受信があった時、全てのボタンあるいは特別なボタンを除いたほとんど全てのボタンを、一時的に不在中に受信した全ての着信履歴、音声情報、文字情報、画像情報

を時系列順に表示あるいは再生させ始めるためのボタンとして割り当てることを特徴とする携帯型無線電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯型無線電話機の発信記録や送受信情報の見聞手段に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の技術として「C201H取扱説明書」（QR30815 XH013-99/5-36 1999年5月版）に記載されているように、携帯型無線電話機に着信があった時は着信履歴に情報が記録され、留守番電話の音声メッセージの録音があった時は音声情報が記録され、メールを受信した時は文字情報が記録され、それぞれの情報を表示したり再生したりするのに、各々別の操作でそれぞれの記録情報を取得していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来技術は、着信履歴情報や留守番電話の録音メッセージ、受信したメール情報などをそれぞれ別の情報として管理しており、各々の情報を閲覧あるいは試聴するには各々別の操作により着信履歴を表示したり、留守番電話の録音メッセージ

を再生したり、受信したメールを表示したりしていた。

【0004】本発明の目的は、送受信した全ての発信記録及び音声情報、文字情報、画像情報の送受信情報の所在を一元管理し記憶しておき、全ての送受信の発信記録及び送受信情報を、ひとつの簡単なボタン操作で順次取得することにある。また、記憶容量が徐々に増えていくに従い発信記録件数も徐々に増えていき検索するのにも時間がかかってしまう。そこで、全ての情報を閲覧するのではなく、相手先を指定して発信記録の検索を可能にすることにより、相手先との発信記録及び送受信情報だけをスピーディに閲覧することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】無線電話機システムにおいて着信制御情報や通話音声情報の電波を送受信することができる図1のアンテナ1と高周波回路部2と送受信した信号が制御情報であるか、文字情報であるか、あるいは音声情報、画像情報のどの情報が送受信されたかを判別することができるマイクロプロセッサ10と、制御プログラムを記憶しておく記憶手段11、短縮ダイヤルメモリのように名前・電話番号・メールアドレスなどの個人情報を関連付けして記憶している記憶手段12と、送受信した全ての発信記録及び送受信した付加情報の所在を管理・記憶しておくための記憶手段20と、付加情報として送受信した文字情報を記憶しておくための記憶手段21と、付加情報として受信した音声情報を記憶しておくための記憶手段22と、送受信した画像情報を記憶しておくための記憶手段23などの記憶手段を有する。

【0006】また、表示や再生の操作を行うためのボタン操作部6と、送受信履歴や文字情報、画像情報を表示させるための表示器5と、受信した音声情報を音声信号に変換するオーディオ回路部3と、それを再生し出力するための拡声器4と不在中に受信があったことを知らせる不在受信発光手段7を有する。

【0007】

【発明の実施の形態】はじめに、アンテナ1より電波を受信し高周波回路部2により携帯型無線電話機のシステムにおいて基地局から送信される情報のみに帯域を絞って受信する。受信した情報が着信のみの制御情報なのか、自動的に着信に回答して相手側の音声情報を付加情報として録音するのか、文字情報を付加情報として記憶するのかあるいは画像情報を付加情報として記憶するのかを、マイクロプロセッサ10により判別し、それぞれで管理している記憶手段21/記憶手段22/記憶手段23の何れかに記憶しておくと共に新たに設けた全ての発信記録を管理、及び記憶しておく記憶手段20に、送信あるいは受信した日時と相手先の電話番号及び各付加情報の有無とその情報の所在を記録しておく。

【0008】携帯型無線電話機の利用者はボタン操作部6の簡単な操作により、発信記録管理記憶手段20の交

10

20

30

40

50

3

信記録を時系列順、あるいは時系列の逆順に表示し、付加情報がある場合はその種類と所在情報によりそれぞれの記憶手段から付加情報を取得する。付加情報が音声情報であれば、オーディオ回路部3を経由して拡声器4より相手の音声を再生して出力し、文字情報あるいは画像情報であれば表示器5にその情報を表示させる。

【0009】また、その携帯型無線電話機の利用者の不在中に受信した情報があれば、利用者がボタン操作を行うまで不在受信発光手段7を点滅させることにより、暗闇でも受信があったことがわかるようにする。さらに、このボタン操作部6の中の特定ボタンを除いた全てのボタンを一時的に不在中の受信履歴を表示するためのボタンとして割り当てることにより、複雑なボタン操作を行わずに簡単に、不在中に受信した情報を時系列順に表示あるいは再生させることができる。

【0010】また、大量に記憶されている送受信履歴件数も既に登録されている個人情報記憶手段12を元に相手先を絞って検索することにより、相手先との送受信情報だけをスピーディに閲覧することができる。

【0011】

4

【発明の効果】本発明によれば、携帯型無線電話機において全ての送受信履歴や不在中に発生した受信履歴を検索して表示あるいは再生することが、簡単な操作ひとつですぐにできるという効果が得られると共に、暗闇でも発光手段の点滅により不在中に受信があったことがわかるという効果が得られる。さらに、増加しつつある受信履歴件数や送信履歴件数も既に登録してある個人情報で検索することにより、相手先との送受信情報だけをスピーディに閲覧することができる。

10 【図面の簡単な説明】

【図1】 発明を実現するための携帯型無線電話機の構成。

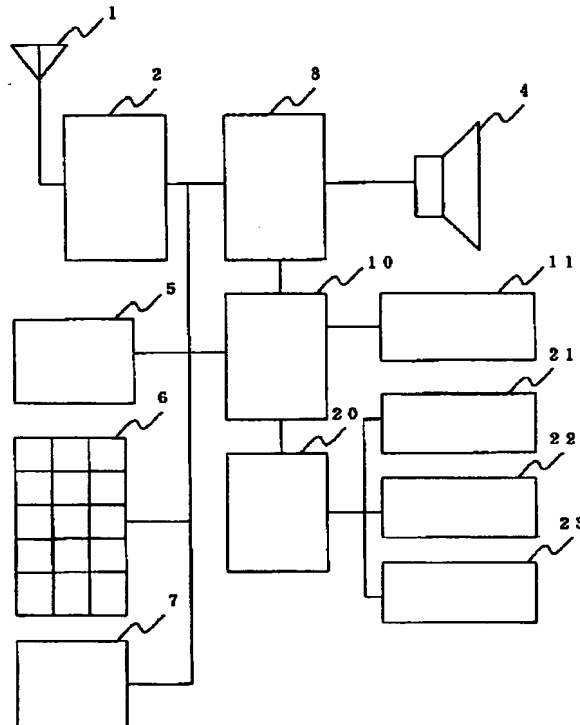
【符号の説明】

1…アンテナ、2…高周波回路部、3…オーディオ回路部、4…拡声器、5…表示器、6…ボタン操作部、7…不在受信発光手段、10…マイクロプロセッサ、11…制御プログラム記憶手段、12…個人情報記憶手段、20…交信記録管理記憶手段、21…文字情報記憶手段、22…音声情報記憶手段、23…画像情報記憶手段。

20

【図1】

図1



フロントページの続き

(72)発明者 梅原 義章

茨城県ひたちなか市稲田1410番地 株式会
社日立製作所デジタルメディア製品事業部
内

(72)発明者 羽鳥 昌行

茨城県ひたちなか市稲田1410番地 株式会
社日立製作所デジタルメディア製品事業部
内

(72)発明者 中原 章晴

茨城県ひたちなか市稲田1410番地 株式会
社日立製作所デジタルメディア製品事業部
内

Fターム(参考) 5K027 AA11 BB02 FF23 HH00 HH23

MM04

5K067 AA34 BB04 BB08 DD11 DD52

DD53 DD54 EE02 EE10 FF01

FF06 FF07 FF23 FF24 FF25

FF40 HH22 HH23 KK13 KK15

5K101 LL12 NN02 NN18 PP03 PP05